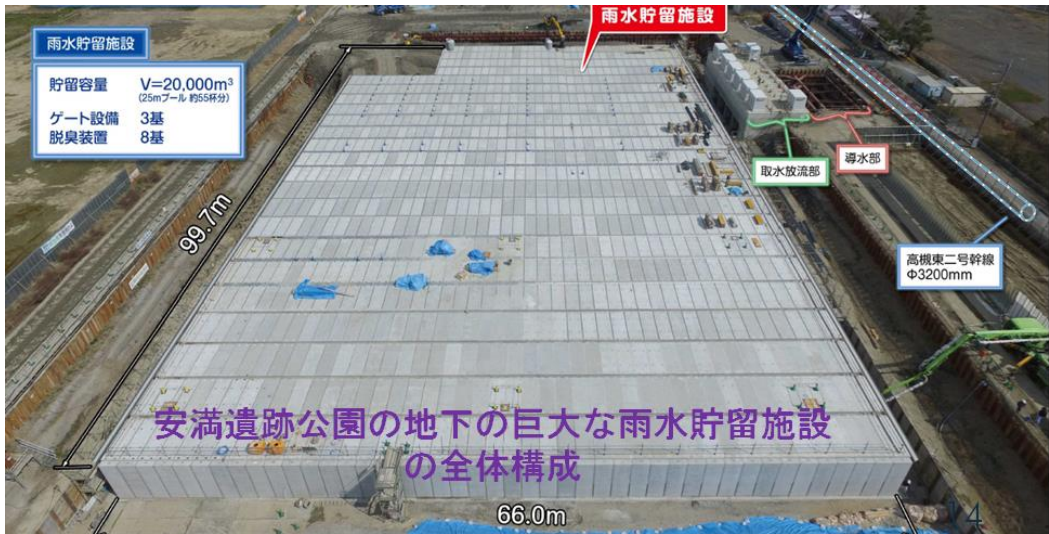


1 3-3. 安満遺跡公園内の雨水貯留施設全体構成図



1 3-3. 安満遺跡公園内雨水貯留施設全体構成図

全体構成がよくわかる図です。

- 1) 導管は道路の下に 3.2m 径の管が埋設されています。
- 2) 導水部
- 3) 取水放水部
- 4) 雨水貯留施設

7. 雨水貯留の仕組み

雨天時に結水層を越え貯留施設内に流入。
構造等にスライドゲート操作による自然排水方式を採用し、維持管理コストを低減。

雨水貯留施設 (本体)
(貯留容量 V=20,000 m³)

8. 雨水貯留施設建設工事施工状況

9. 使用部材

※ 使用部材を工場製作し、運搬及び据付けすることで約120日間の工期短縮。

雨水貯留施設用プレキャストブロック使用材料			
部材名	寸法 (mm)	重量 (kg)	個数 (本)
埋設ブロック	H=4000×1495	9600	58
中間ブロック	H=4000×1495	7120	524
頂部ブロック	H=3960×1495	5180	966

※ 雨水対策設備は、できる限り都市機能を確保し、浸水被害から人命の安全を図る施設でなければならない。